

# 海外留学の 手引き 2017

短期海外語学研修・交換留学制度



二松學舎大學

「生きた語学を学びたい」「異文化に触れてみたい」  
「コミュニケーション能力を高めたい」「自分や人生を変えたい」  
「来年は就職活動。自分の価値を高めたい」「将来は国際的な仕事をしたい」  
「海外生活を経験したい」「海外で見聞を広めたい」

本学は、そんな希望を持つ学生のために、  
短期海外語学研修や派遣留学の機会を提供しています。

「春・夏休みを利用して、短期で海外へ」

という学生は **短期海外語学研修**

夏または春休みの間に本学が選定した教育機関で実施する研修です。

「休学せずに半年～1年間、海外の大学へ」

という学生は **派遣留学**

- ・学籍上の取扱いは「留学」になります。
- ・派遣留学生奨学金の給付が行われます。
- ・留学期間中の本学への施設費は全額免除されます。
- ・留学先大学で修得した単位は、本学の卒業必要単位として認定されます。(条件あり)
- ・留学期間は本学の修業年限に算入されるため、留学しても学部生の場合は4年間で卒業(修了)できる可能性があります。

Let's Challenge!



# 二松学舎大学の グローバルネットワーク

## 短期海外語学研修・派遣留学が可能な国

### 🇬🇧 イギリス

古くから伝わる「伝統」と、常にイノベーションを追及する姿勢から生み出された「最先端」が融合している国イギリス。イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドで構成され、地域ごとに違った顔を持っています。芸術やファッション、スポーツ、音楽など、さまざまな魅力ある文化であふれ、なかでもロンドン世界的大都市です。一度訪れれば、世界中にイギリスのファンがいるのも納得できます。

【短期海外語学研修先】ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ



### 🇮🇪 アイルランド

「ヨーロッパが好き！」という人に一度は行ってもらいたいアイルランドは、「エメラルドの島」の愛称にふさわしく、豊かな緑に恵まれた美しい島。国土の多くは森や草原などの牧草地で、初めて訪れた人でもどこか懐かしさを感じる不思議な魅力があります。首都ダブリンをはじめ、それぞれの街では活気あふれたダンスや音楽のイベントが数多く行われています。古代の遺跡や古城巡りも楽しみのひとつ。

【短期海外語学研修先】ダブリンシティ大学付属語学教育機関 DCU ランゲージサービス



### 🇮🇹 イタリア

現代と古代が共存する街ローマ、ルネッサンスの時代を感じられるフィレンツェ、水の都として名高いヴェネツィア、活気あふれる人々が行き交うミラノ…どの街を訪れてもそれぞれが個性を持つ国イタリア。誰もが目を奪われる文化遺産の宝庫であり、グルメやファッションなどもこの国の楽しみのひとつです。生きる喜びに満ちあふれた陽気なイタリアの人々には、もう一度訪れたいと思わせる魅力があります。

【派遣留学先】国立カ・フォスカリ大学（対象：大学院生のみ）



### 🇫🇷 フランス

どの街を歩いても、豊かな気持ちにさせられるフランス。訪れてみれば、数々の人気ファッション・ブランドが生まれた国というのも納得できます。たくさんの人々を魅了してきた首都パリはもちろん、モン・サン・ミッシェルやヴェルサイユ宮殿をはじめとする多数の歴史遺産、美しい田園風景、おしゃれな料理にスイーツなど、どんな人でも飽きることのない魅力があります。

【派遣留学先】国立リール第三大学（対象：大学院生のみ）



## ハンガリー

ヨーロッパで唯一のアジア系民族国家として、親日的なハンガリー。「ドナウの真珠」と称された首都ブダペストは、歴史的建造物が立ち並ぶ洗練された街です。一方で、豊かな自然にも恵まれており、素朴な農村や大平原が広がっています。美しい音楽、情熱にあふれた民族舞踊など、多彩な魅力があります。また、世界有数の温泉大国として知られ、古くから温泉文化が根づいています。

【派遣留学先】 エトヴェシュ・ロラード大学 (対象:大学院生のみ)



## 中国

人口・国土面積ともに世界的なスケールを誇る中国は、日本と最も古くから親交のある国です。数千年の歴史によってつくりあげられた芸術と文化、美しい風景、活気あふれる人々など、そのダイナミックさには驚かされます。また、一度食べたらクセになる本場の中華料理は「絶品」のひとつ。大都市の北京をはじめ、近代化が進む上海、西湖のある古都杭州、少数民族が暮らす華南など、何度訪れても飽きない魅力がたくさんあります。

【短期海外語学研修先】 北京大学

【派遣留学先】 北京大学、

浙江工商大学 (対象:大学院生のみ)



## 韓国

日本の隣国である韓国は、文化遺産や壮大な自然が残る中部地域、国内最大の港である釜山など、それぞれの土地によって独自の文化を築いてきました。コリアンフード、史跡巡り、ショッピング、K-POP、伝統芸能など、楽しみ方は多岐にわたります。美意識が高い韓国ならではの美容体験も女性にとっては大きな魅力です。

【派遣留学先】 成均館大学校成均語学院



## 台湾

異国であることを忘れてしまうような懐かしさが感じられる台湾。親日国として日本語を話せる台湾人も数多く見られ、人々の温かい心にふれることができます。「グルメ大国」としても有名な台湾の料理は、日本人好みの味。また、熱帯・亜熱帯・温帯の3つの気候を持ち、トロピカルな自然を維持しています。小さな島国でありながらも、癒しとエネルギーを与えてくれます。

【派遣留学先】 中国文化大学



# 二松学舎大学の留学プログラム

## 短期海外語学研修と派遣留学

二松学舎大学では、短期海外語学研修と派遣留学の2つの留学プログラムを提供しています。

短期海外語学研修は、研修期間が約3週間で、夏期休業期間などの長期休業期間中に行われます。

派遣留学は、留学期間1年間で行われ、この期間は在学の修業年限に算入されるため、「休学」せずに留学することが可能な制度です。

いずれのプログラムも、修得した単位は卒業に必要な単位に計上することができます。

### 短期海外語学研修

二松学舎大学の短期海外語学研修は、国際的に高い評価にある大学で学びます。語学力の向上や異文化体験はもとより、現地大学講師による専門講義、ホームステイや大学寮での生活、現地の大学生・ホストファミリーとの交流など、グローバルマインドを養う良い機会です。

日程、派遣先、費用、定員などの諸事情により、変更・中止となる場合があります。

国	留学先	留学期間	募集人数	申込締切	応募資格	研修費用
イギリス 	ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ (ケンブリッジ)	2017年8月13日 ～9月3日	20名程度 (最少人数1名)	2017年 5月19日	・学部生1～4年次 ・英語力テスト (IELTS4.0以上またはTOEIC450点以上) に相当する英語力があることが望ましい	約80万円
アイルランド 	ダブリンシティ大学 付属語学教育機関 DCU ランゲージサービス (ダブリン)	【夏期】2017年8月13日 ～9月3日 【春期】2018年3月4日 ～3月25日	上限なし	【夏期】2017年5月31日 【春期】10月ごろ	・【夏期】学部生1～4年次 ・【春期】学部生1～3年次	【夏期】 約55万円 【春期】 約45万円
中国 	北京大学 (北京)	2017年8月6日 ～8月26日	20名 (最少人数15名)	2017年 5月26日	・学部生1～4年次 ・中国籍でないこと	約40万円

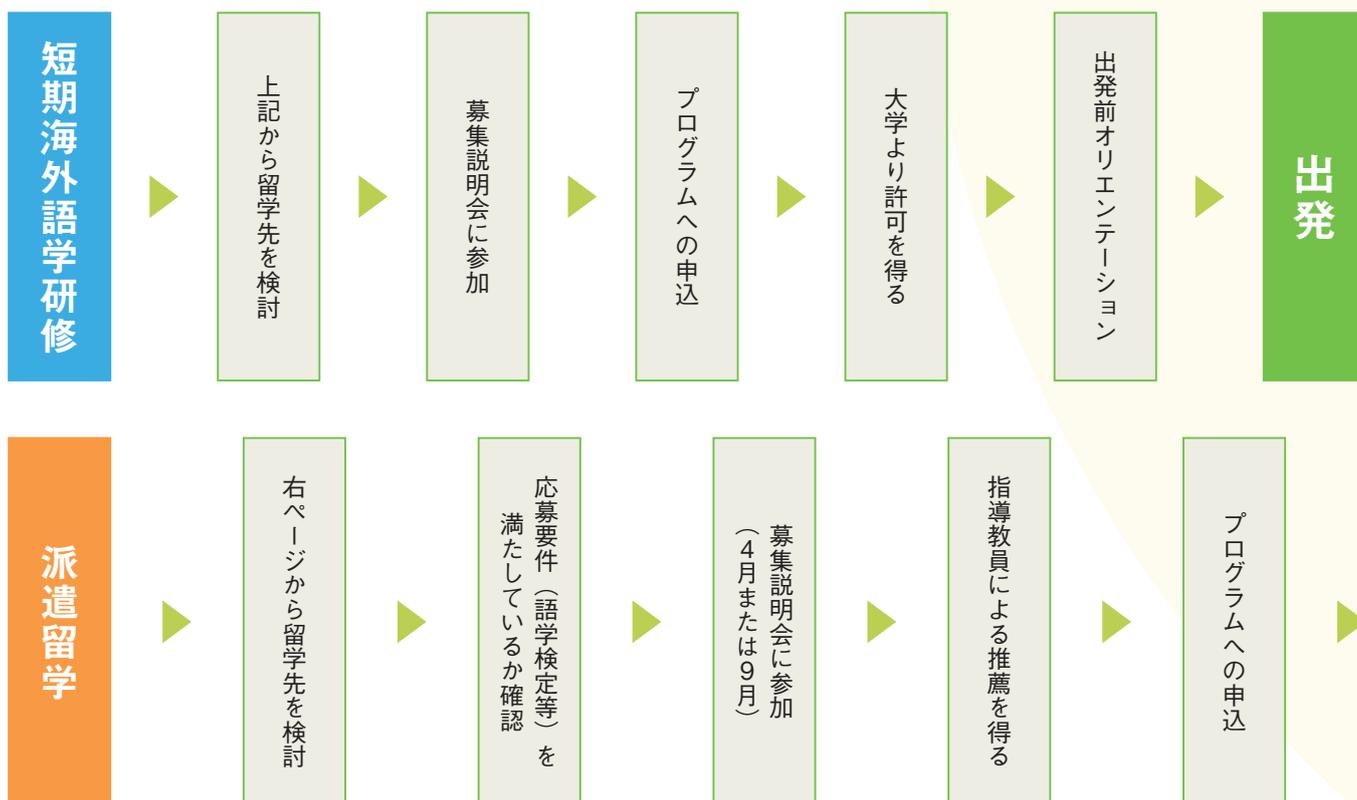
※プログラムの詳細は08ページをご覧ください。

※外国籍の学生はビザ手続きなど、通常の渡航手続きと異なる場合があるため、早めに国際交流センターにお問い合わせください。



## 留学までのプロセス

下記を参考に留学までの流れを確認し、しっかりとした計画を立てましょう。留学のタイミングを逃さず、安全で有意義な留学生活を送りましょう。



## 交換留学

海外協定校への1年間（または半年間）の交換（派遣）留学です。  
原則として、**本学施設費および各協定校の授業料は免除されます。**

国	留学先	留学期間	募集人数	申込締切	応募資格【応募時】 (※詳細は国際交流センターにお問い合わせのこと)	審査	待遇
韓国	成均館大学校 (ソウル)	2018年2月～ 2019年1月	2名以内	2017年 5月26日	① 文学部1～4年次生、国際政治経済学部1～4年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ ハングル能力検定3級以上、または韓国語能力検定3級（中級）以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい	【6月中に実施】 書類審査 韓国語筆記試験 面接試問	本学施設費および協定校の授業料免除
中国	北京大学 (北京)	2018年9月～ 2019年8月	2名以内	2017年 10月20日	① 文学部2、3年次生、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい	【11月中に実施】 書類審査 中国語筆記試験 面接試問	本学施設費および協定校の授業料免除 (帰国後、領収書と引換えに授業料が返金される)
台湾	中国文化大学 (台湾)	2018年9月～ 2019年8月	2名以内	2017年 10月20日	① 文学部2、3年次生、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい	【11月中に実施】 書類審査 中国語筆記試験 面接試問	本学施設費および協定校の授業料免除
中国	浙江工商大学 【大学院】 (浙江省)	2018年9月～ 2019年2月(半年間) 2019年3月～ 2019年8月(半年間) 2018年9月～ 2019年8月(1年間)	3～6名以内	2017年 10月20日	① 応募時に大学院文学研究科博士前期課程に在籍していること ② HSK5級180点以上、または中国語検定2級以上を取得していること	【11月中に実施】 書類審査 中国語筆記試験 面接試問	本学施設費および協定校の授業料免除
ハンガリー	イトヴェシュ・ロラード大学 【大学院】 (ブダペスト)	2018年9月～ 2019年1月(半年間) 2019年2月～ 2019年7月(半年間) 2018年9月～ 2019年7月(1年間)	1～2名以内	2017年 10月20日	① 応募時に大学院文学研究科博士前期課程に在籍していること ② TOEFLi-BT90 (PBT 550) または IELTS5.5以上あること	【11月中に実施】 書類審査 英語筆記試験 (またはTOEFL等のスコアを適用する) 面接試問	本学施設費および協定校の授業料免除
フランス	国立リール第三大学 【大学院】 (リール)	2018年9月～ 2019年1月(半年間) 2019年2月～ 2019年7月(半年間) 2018年9月～ 2019年7月(1年間)	1～2名以内	2017年 10月20日	① 応募時に大学院文学研究科博士前期課程に在籍していること ② フランス語検定で最低B2レベルを満たしていること。B1-B2レベルの学生は必要に応じて、非ネイティブスピーカーのためのフランス語コース(DEFI)に無償で参加することができる(B1-B2レベルに達しない学生は、DEFIのフランス語コースを有償で受けなければならない)	【11月中に実施】 別途掲示	本学施設費および協定校の授業料免除
イタリア	国立カ・フォスカリ大学 【大学院】 (ヴェネツィア)	2018年9月～ 2019年1月(半年間) 2019年2月～ 2019年7月(半年間) 2018年9月～ 2019年7月(1年間)	1～2名以内	2017年 10月20日	① 応募時に大学院文学研究科博士前期課程に在籍していること ② イタリア語もしくは英語あるいはその両方の能力を有していること(イタリア語・英語ともにB2レベル)	【11月中に実施】 別途掲示	本学施設費および協定校の授業料免除

※日程、派遣先、費用、定員などは諸事情により変更・中止になることもあります。認定単位については、19ページをご覧ください。  
※上記協定校以外の大学(周口師範学院・中国)への派遣留学は、国際交流センターにお問い合わせください。



# 平成 29 年度 短期海外語学研修プログラム

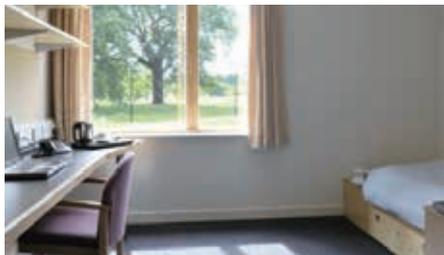
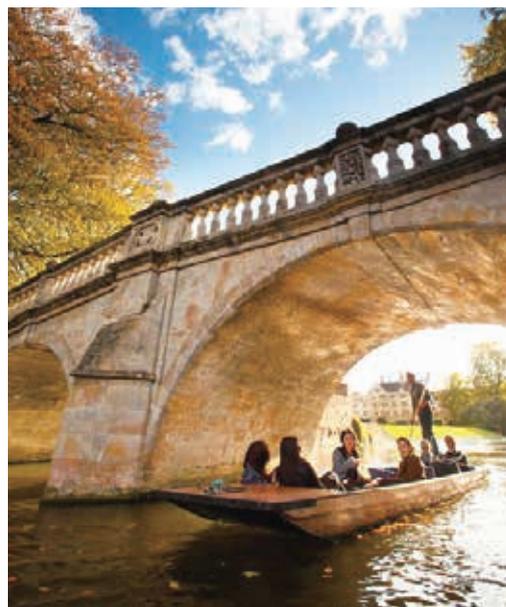
夏または春休みの間に参加できる語学研修プログラムです。

国際的に高い評価にある大学で学び、語学力の向上や異文化体験はもとより、グローバルマインドを養う良い機会です。

## 🇬🇧 イギリス ケンブリッジ大学 夏期プログラム

ケンブリッジ大学ホートンカレッジによる英語研修は、英語授業と専門科目の講義で構成されており、英語授業に加え、同大学講師から直接学ぶ講義、同大学学生との交流、小旅行（ロンドンやストーンヘンジ等）、伝統的なダイニングホールでのフォーマルディナー、カレッジ寮生活体験など英国らしい体験が魅力です。ケンブリッジ大学生・院生がTA（Teaching Assistant）として日常生活の世話、学習の補助、レクリエーションの運営にあたります。スピーチ・プレゼンテーションを含む所定のプログラムを修了後には、ケンブリッジ大学ホートンカレッジからオフィシャル修了証書が授与されます。

期 間	2017年8月13日（日）～9月3日（日）
研修機関	ケンブリッジ大学ホートンカレッジ
研修費用	80万円前後 （為替変動により費用が変更になることがあります）
募集人員	20名程度（最少人数1名）
応募条件	・学部生1～4年次 ・英語カテスト（IELTS4.0以上またはTOEIC450点以上）に相当する英語力があることが望ましい
申込締切	2017年5月19日（金） *先着順により順次、受付を行い、定員になり次第締め切ります。



### 語学研修の参加条件

- ① 研修趣旨を理解していること
- ② 心身ともに健康で、異文化に適應できること
- ③ 団体生活で本学・派遣先大学の指示に従うことができること

### 短期海外語学研修募集説明会

- 【夏期】 イギリス・アイルランド・中国  
4月24日(月) 12:30～12:50  
5月9日(火) 12:30～12:50
- 【春期】 アイルランド  
未定

## ● アイルランド ダブリンシティ大学プログラム

親しみやすい人柄と悠然とした風土で人気のアイルランドにあるダブリンシティ大学付属語学教育機関で、基礎的な英語力の向上とホストファミリーとの交流を重視した英語研修プログラムです。ホームステイでは、現地の家族の一員として滞在することで、異文化体験を実感します。英語力・海外経験は問いませんので、初めての海外でゆったりと英語を勉強したい学生向けの研修です。



期 間	【夏期】 2017年8月13日(日)～9月3日(日) 【春期】 2018年3月4日(日)～3月25日(日)
研修機関	ダブリンシティ大学付属語学教育機関 DCU ランゲージサービス
研修費用	【夏期】 55万円前後 【春期】 45万円前後
募集人員	上限なし。最少催行人数1名
応募条件	・【夏期】 学部生1～4年次 ・【春期】 学部生1～3年次
申込締切	【夏期】 2017年5月31日(水) 【春期】 10月ごろ



## ● 中国 北京大学 夏期プログラム

中国の最高学府である北京大学での語学研修を通して実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語学力向上と歴史・文化を学びます。京劇、雑技鑑賞、名所旧跡の参観など首都北京で中国語を試す機会が豊富にあります。



期 間	2017年8月7日(月)～8月27日(日)
研修機関	北京大学 (受入機関: 北京大学歴史系)
研修費用	40万円前後
募集人員	20名 (最少催行人数15名)
応募条件	・学部生1～4年次 ・中国籍でないこと
申込締切	2017年5月26日(金)



※日程、派遣先、費用、定員などは諸事情により変更・中止になることがあります。  
※その他の国への短期海外語学研修については、国際交流センターまで問い合わせください。

# 平成 29 年度交換留学プログラム

海外協定校への1年間（または半年間）の交換（派遣）留学です。

こちらで紹介している留学の場合、原則として本学施設費および各協定校の授業料は免除されます。

## 成均館大学校（韓国）

1398年に創設された成均館を母体とし、約600年の歴史を有する韓国有数の大学。人文・社会学系のソウルキャンパスと自然科学系のスウォンキャンパスの2つがある。韓国語学習者のための成均語学院がある。

期間	2018年2月～2019年1月
応募締切	2017年5月26日（金）まで ※応募書類は11ページ参照 場所：国際交流センター事務室 受付時間：平日9:00～16:30（11:25～12:10は除く）
応募資格 (応募時)	① 文学部1～4年次生、国際政治経済学部1～4年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ ハングル能力検定3級以上、または韓国語能力検定3級（中級）以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入する者
履修内容	① 留学生向けのプログラム（成均語学院） 現地でプレイズメント試験（クラス分けのための試験）を受け、その結果に応じて、所属のクラスが指定されます。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定されます。なお、プログラムを受講するには、渡韓前に申し込みを行う必要があります。※単位認定の詳細については19ページ参照 ② 正課科目 原則として、学部・語学レベルに関らず開講されているすべての科目を履修することができます。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位（①の20単位含む）まで認定されます。 ※単位認定の詳細については19ページ参照
生活環境	① 滞在先 成均館大学校留学生寮（1か月約4.5万円） 2人～8人部屋（設備：シャワールーム、ベッド、机、椅子、クローゼット、電気スタンド、寝具等） ※学期間の長期休業中は、一時退寮し、各個人で手配した他の滞在先に移動する必要があります ② 食事 昼食は、キャンパス内の食堂、または学生街の食堂が便利です（1食500円前後）。また、学生寮には共同のキッチンがあります
留学費用目安	【宿泊費】約50万円                      【航空運賃・ビザ申請料】約10万円 【海外旅行保険】約15万円 ※必須      【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約140万円 ※派遣留学生には、月額4万円の奨学金が支給されます。
備考	① 応募予定の学生は、出願前に必ずハングル能力または韓国語能力検定を受験し、証明書を入手しておくこと ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に国際交流センター事務室へ確認すること ③ 出願前に指導教員による推薦を得ること
URL	<a href="http://www.skku.edu">http://www.skku.edu</a>

## 北京大学（中国）

中国の最高峰の総合大学。前身は京師大学堂。中国の近現代史において、常に重要な役割を果たしてきた。同大学歴史学系は、1996年から本学短期海外研修の受入れ先となり1999年5月に本学と協定を締結。

期間	2018年9月～2019年8月
応募締切	2017年10月20日（金）まで ※応募書類は11ページ参照 場所：国際交流センター事務室 受付時間：平日9:00～16:30（11:25～12:10は除く）
応募資格 (応募時)	① 文学部2、3年次生、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入する者
履修内容	① 留学生向けのプログラム（対外漢語教育学院） 現地で行なわれるプレイズメント試験（クラス分けのための試験）を受ける必要があります。その結果に応じて、所属のクラスが指定されます。単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定されます。※単位認定の詳細については19ページ参照 ② 正課科目 正規の学部授業を受講するためには、留学手続開始までにHSK6級（180点以上）を取得している必要があります。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位（①の20単位含む）まで認定されます。 ※単位認定の詳細については19ページ参照
生活環境	① 滞在先 北京大学キャンパス内留学生宿舎（1か月約5.3万円=3,000人民元） ※入居時に別途預り金約5.3万円が必要 ② 食事 北京大学キャンパス内の学生食堂（1食200円前後）のほか、韓国料理、イスラム、薬膳など、さまざまな国の料理が安価で利用できます
留学費用目安	【北京大学への授業料】約65万円（帰国後、領収書と引換えに返金されます） ※申込金・教材費等別途要。 【北京大学への申請費】約10,000円      【宿泊費】約65万円 ※留学生宿舎 【航空運賃・ビザ申請料】約20万円      【海外旅行保険】約15万円 ※必須 【健康診断料】約1.5～3万円              【食費、その他】約40万円 【医療保険（北京大学指定）】約2万円 【1年間合計】約210万円（約145万円※） ※帰国後、返金される授業料を除いた場合。 ※派遣留学生には、月額4万円の奨学金が支給されます。
備考	① 応募予定の学生は、出願前に必ず中国語検定またはHSKを受験し、証明書を入手しておくこと ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に国際交流センター事務室へ確認すること ③ 出願前に指導教員による推薦を得ること
URL	<a href="http://www.pku.edu.cn">http://www.pku.edu.cn</a>

### ★派遣留学生募集説明会（※詳細は掲示を確認ください）

【第1回】4月18日（火）12:30～12:50

【第2回】4月26日（水）12:30～12:50

※応募学生は、上記いずれかの説明会（九段キャンパス）に出席してください。出席できない場合は早めに国際交流センターに問い合わせてください。

### ★派遣留学生募集説明会（※詳細は掲示を確認ください）

【第1回】9月20日（水）12:30～12:50

【第2回】9月28日（木）12:30～12:50

※応募学生は、上記いずれかの説明会（九段キャンパス）に出席してください。出席できない場合は早めに国際交流センターに問い合わせてください。

## 中国文化大学（台湾）

学系の数では台湾最大の総合大学。陽明山の中腹に広大なキャンパスを構えるほか、台北市内にもサテライト教室を設け、社会人向けの授業も行なっている。キャンパス内の華岡博物館は、台湾一の大学博物館で、5万点の収蔵品を誇る。

期間	2018年9月～2019年8月
応募締切	2017年10月20日（金）まで ※応募書類は11ページ参照 場所：国際交流センター事務室 受付時間：平日9:00～16:30（11:25～12:10は除く）
応募資格 (応募時)	①文学部2、3年次生、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ②出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい ⑤本学が定める留学保険に加入する者
履修内容	①留学生向けのプログラム 現地で行なわれるプレシメント試験（クラス分けのための試験）を受ける必要があります。その結果に応じて、所属のクラスが指定されます。単位については、本学で履修内を審査のうえ、20単位を上限に認定されます。※単位認定の詳細については19ページ参照 ②正課科目 現地で所定の手続きを行なう必要があります。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位（①の20単位含む）まで認定されます。 ※単位認定の詳細については19ページ参照
生活環境	①滞在先 中国文化大学キャンパス内留学生生宿舎（宿舎費免除） 【寢具代】約7,000円 ※入居時に別途預り金約7,000円が必要 男子寮（2～3人で1ルーム） 女子寮（4～6人で1ルーム） 設備：ペット、机、椅子、書架、タンス、電気スタンド等（男子寮のみエアコン付） ②食事 中国文化大学キャンパス内の学生食堂が便利です（1食300円～500円程度）。
留学費用 目安	【航空運賃・ビザ申請料】約15万円 【海外旅行保険】約15万円 ※必須 【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約95万円 ※派遣留学生には、月額3万円の奨学金が支給されます。
備考	①応募予定の学生は、出願前に必ず中国語検定またはHSKを受験し、証明書を入手しておくこと ②派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に国際交流センター事務所へ確認すること ③出願前に指導教員による推薦を得ること
URL	<a href="http://www.pccu.edu.tw/">http://www.pccu.edu.tw/</a>

### ★派遣留学生募集説明会（※詳細は掲示を確認ください）

【第1回】9月20日（水）12:30～12:50

【第2回】9月28日（木）12:30～12:50

※応募学生は、上記いずれかの説明会（九段キャンパス）に出席してください。  
出席できない場合は早めに国際交流センターにお問い合わせください。

※その他協定を結んでいる大学（周口師範学院・中国）への派遣留学は、国際交流センターにお問い合わせください。

#### ▼派遣留学の場合の応募書類

- ①留学願（大学所定の用紙に記入）
- ②留学計画書（大学所定の用紙に記入）
- ③語学力を証明する書類
- ④健康診断証明書（大学実施の健康診断を受診していない場合は申し出ること）

#### ▼派遣留学生の義務

- ①留学先の学則の遵守
- ②派遣期間中の月例報告書の提出
- ③派遣留学期間の全期間において本学が定める条件を満たす留学保険に加入すること
- ④留学先が主催する国際交流等の催事に積極的に参加すること

#### ▼帰国報告（留学を終えて帰国した者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出すること）

- ①留学終了届
- ②帰国報告書
- ③在籍期間証明書
- ④成績証明書

## 大学院

### 浙江工商大学（大学院）

（中国）

中国の東部、上海に接する浙江省の首都杭州にある総合大学。前身の杭州中等商業堂は1911年に創立されて以来、現在は9学部を持つ大学に発展を続け、2004年5月に浙江工商大学となった。

URL <http://ryxy.zjgsu.edu.cn/jp/>

### エトヴェシュ・ロラード大学（大学院） （ハンガリー）

首都ブダペストに位置する約380年の歴史を持つ公立大学で、同国で最も歴史が古く大規模な大学である。過去に5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、教育水準の高さを誇っている。

URL <http://www.elte.hu/>

### フランス国立リール第三大学（大学院） （イタリア）

フランス北部に位置する国内有数の大都市リールの郊外にある。人文・芸術・行政・社会科学を専門とする国立大学である。

URL <https://www.univ-lille3.fr/>

### イタリア国立カ・フォスカリ大学（大学院） （イタリア）

イタリアのヴェネツィアにある国立大学である。ドルソドーロ地区にあるカ・フォスカリをキャンパスとして使用している。多数のインターナショナル・プログラムを含んだイタリア語と英語によるコースを提供している。

URL <http://www.unive.it/pag/13526/>

## 協定校への留学

「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づく、海外協定校への1年間（協定校によっては半年間）の交換（派遣）留学です。本学で留学希望者を募集し、所定の審査により各協定校につき最大2名を選出します。協定校によって、応募期間や資格、協定校への授業料の支払い等、派遣条件がそれぞれ異なるので、ご注意ください。

#### <主な特長>

- ・学籍上の取扱いは「留学」になります。
- ・派遣留学生奨学金の給付が行われます。
- ・留学期間中の本学への施設費は全額免除されます。
- ・留学先大学で修得した単位は、本学の卒業必要単位として認定されます。（条件あり）
- ・留学期間は本学の修業年限に算入されるため、留学しても学部生の場合は4年間、大学院博士前期（修士）課程生の場合は2年間、博士後期課程生の場合は3年間で卒業（終了）できる可能性があります。

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金について  
文部科学省が所管する独立行政法人日本学生支援機構（以下、機構）の奨学金で、協定校への派遣留学生を対象としています。申込は本学で行う必要があります。

#### ※第二種奨学金（短期留学）- 貸与（利息付）

貸与型の奨学金で、返還する必要があります（在学中は無利子ですが、卒業後より利息が計上されます）。貸与月額は、3万円・5万円・8万円・10万円・12万円からの選択制で、留学期間中に限り貸与されます。申し込みには連帯保証人が必要です。希望者は、本学を通して申請し、機構の審査を経て決定されます。留学時期により募集時期が異なるので、希望する場合は早めにお問い合わせください。



## 世界を知り、自分を知る体験。 留学で「成長」と「自信」を実感しています。

TALK



破魔 仁美 さん

【留学先】 北京大学（中国）

【留学期間】 1年間

【専攻】 文学部 中国文学科 中国語専攻  
（平成 28 年度卒業生）

【出身高校】 東京都立江戸川高等学校

TALK



玉地 雄太 さん

【留学先】 中国文化大学（台湾）

【留学期間】 1年間

【専攻】 文学部 中国文学科 中国語専攻  
（平成 28 年度卒業生）

【出身高校】 東京都立府中高等学校



### || 留学しようと思ったきっかけ

破魔 私は将来、中国と関わる仕事がしたいと考えていて、大学に入学する以前から中国に留学することを心に決めていました。二松学舎大学の交換留学制度で北京大学に留学できることが、私が二松学舎大学を選んだ理由でもあります。

玉地 僕は高校時代から中国語を学んでいて、中国語や中国の文化に興味があったことと、将来は旅行関係の仕事に就きたいという目標があるので、海外を経験しておきたいという考えもありました。

破魔 私の場合は特にこれといった目標を決めていなかったのですが、今回の留学で中国の歴史に関心が出てきて、北京大学の大学院に進学したいと思っています。



二松学舎大学の派遣留学プログラムを利用して、平成 27 年度に  
北京大学 (中国) に留学した破魔さんと中国文化大学 (台湾) に留学した玉地さんに、  
留学経験について話してもらいました。



## || 留学先での生活について

**玉地** 僕は会話の授業で、いろいろな国からの留学生たちと中国語で話したことが印象に残っています。特に韓国からの留学生と気が合って、休日はいっしょに街に出たり、レンタサイクルで海まで走ったことが思い出です。

**破魔** 私がいた寮ではよくパーティが開かれ、参加するたびにオーストラリアやアメリカ、南アフリカ、ロシア、韓国などの学生との交流の輪が広がりました。



## || 留学で身についた力

**玉地** やっぱり、コミュニケーション能力ですね。語学力も必要ですが、それよりも「伝えたい」という気持ちが大切だということ学びました。また、「将来は海外で生活するのもいいかな」と思えるようになりました。

**破魔** 私も初めて海外で1年過ごしたことで、どこでもひとりで生きていける自信がついたことが大きいです。



## || これから留学を考える人にメッセージ

**破魔** 日本での常識が通用しないこともあり、価値観が変わります。もちろん不安はいろいろありましたが、1か月もあれば慣れます。

**玉地** それはまったく同感。交換留学なら、毎月奨学金が支給されるのも心強い。

**破魔** それに困ったときには、国際交流センターの方が相談に乗ってくれました。

**玉地** 少しでも留学に興味があるなら、一度相談してみるのもおすすめです。

**破魔** そして留学したら、いろいろな国の留学生と積極的に交流して、異文化を吸収してください。

**玉地** 意識して違う国の友だちをたくさんつくるといいですよ。いろいろな意味で成長できるので、留学は絶対おすすめです！



# 本学のプログラム以外の留学について

二松学舎大学のプログラムを利用せずに留学することも可能です。主に以下のようなものがあります。

種類	内容
大学留学	個人で、海外の大学やカレッジに留学する
語学留学	語学学校に留学し、語学力を向上させる
ワーキングホリデー	働きながら現地に滞在することが可能。語学学校にも就学できる。条件等は国による
インターンシップ	現地企業での就労体験を目的とする

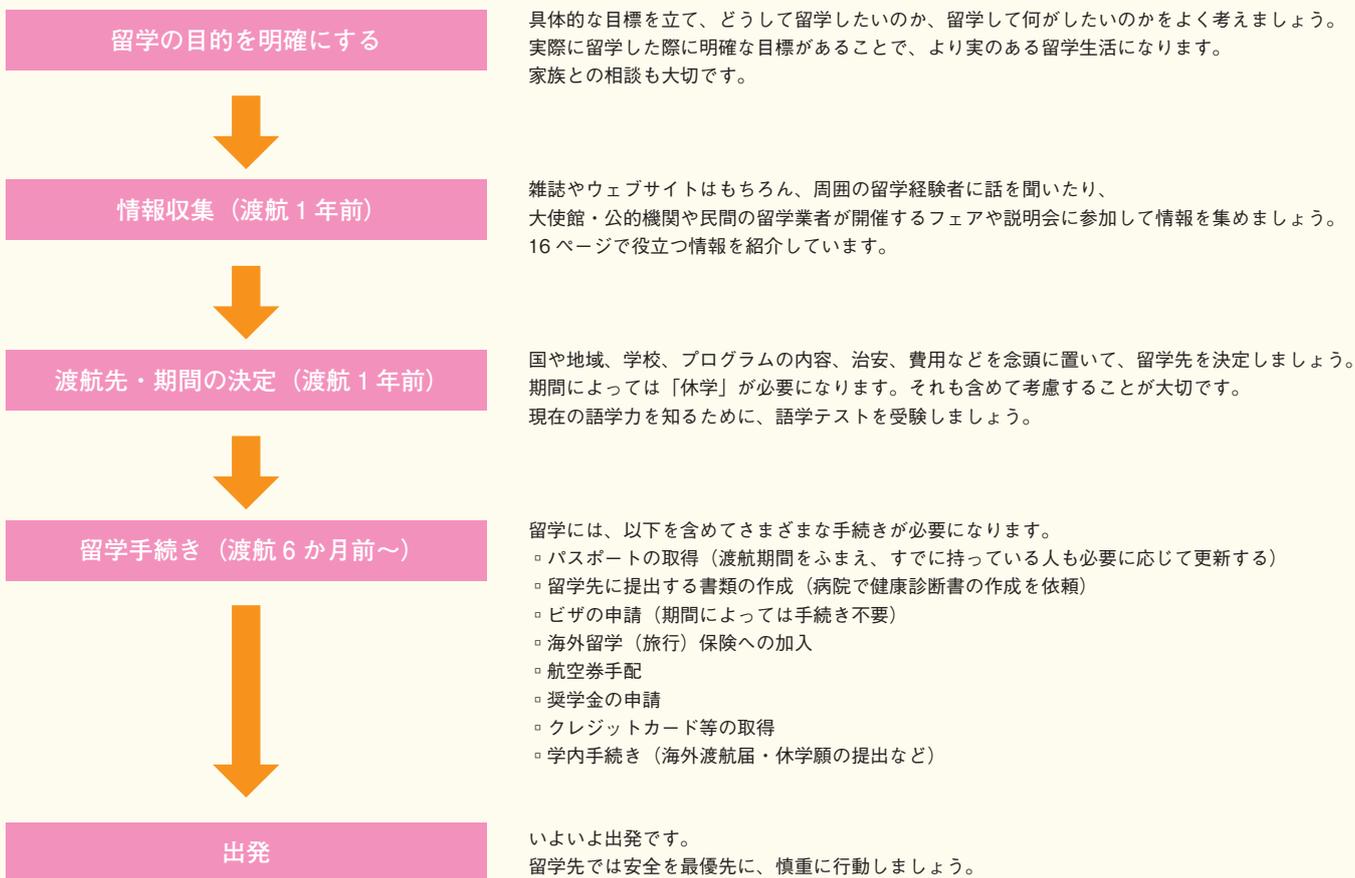
※留学期間によっては「休学」の手続きが必要です。休学期間は、本学の修業年限として計算されませんので、学部生の場合は卒業までに5年以上かかることになります。

※休学期間は、在籍料（年間10万円）が必要になります。



## 留学までのプロセス

下記を参考に留学までの流れを確認し、しっかりとした計画を立てましょう。留学のタイミングを逃さず、安全で有意義な留学生活を送りましょう。



※留学が決まったら、九段1号館3階の学生支援課に、「海外渡航書」を必ず提出してください。提出の際は詳細な資料も必要となります。

※外務省の「たびレジ」にも登録をお願いします。外務省海外旅行登録サービス：<http://www.ezairyu.mofa.go.jp>

### 就職について

学部3～4年生で留学する場合は、帰国後十分な就職活動の時間がとれない可能性があります。現地で日本人学生向けの就職セミナーを実施している学校などもありますが、少数の都市に限られますので、留学前からキャリアセンター等に相談するなど、対策を立てておきましょう。

## 一般的に留学先として著名な国の概要



### アメリカ

アメリカ合衆国は、本土の48州とアラスカおよびハワイの2州、そして首都ワシントンD.C.から構成される国です。その広大な国土により、行く先々でさまざまな気候や景観、地域性が見てとれます。エンターテインメント、芸術、経済、文化、政治など、あらゆるジャンルで世界最高峰を誇るアメリカには、留学やビジネス、観光などを目的に、世界中から多種多様な価値観を持つ人が集まっています。そうした彼らとの出会いは、グローバルな感性を磨く大きなチャンスです。



### カナダ

世界第2位の広大な国土を持ち、10の州と3つの準州から成るカナダは、地域ごとに四季折々の魅力があります。都会派はバンクーバー、ピクトリア、トロント、モントリオールなどのおしゃれな街で、グルメやショッピング、エンターテインメントが楽しめます。アウトドア派にはウィスラーでの夏冬のアクティビティ、バンクーバー島のホエール・ウォッチング、イエローナイフでのオーロラ鑑賞などがおすすめ。英語と仏語を公用語とするカナダでは、仏語にふれることもできます。



### オーストラリア

地球上で最も小さな大陸であると同時に、日本の約21倍の面積を持つオーストラリア。エアーズ・ロックやグレート・バリア・リーフなど、世界でも類を見ないほどダイナミックで独特な自然環境はもちろん、思わず頬がゆるんでしまうカンガルーやコアラなどの動物との出会いは、オーストラリアならではの楽しみといえます。壮大な自然と近代的で洗練された都市が同居しており、親日家も多いオーストラリアは、日本人にとって安心できる留学先といえます。



### ニュージーランド

日本の4分の3ほどの国土に数多くの国立公園が点在しているニュージーランドは、北島と南島のふたつで構成されている島国です。国を挙げて自然環境の保護に取り組んでおり、大都市でも車で少し走れば緑と羊の群に出会うことができます。アウトドア・アクティビティはもちろん、特有のマオリ文化を体験するのもおすすめ。おらかでホスピタリティあふれるニュージーランドの人々との出会いは、この国を訪れた人の心を豊かにしてくれます。

民間の留学業者を利用する場合は、以下の点を確認しましょう

- ① 組織、事業目的、実績等の面で信頼できるものであるか  
(国土交通大臣登録旅行業の登録番号やJ-CROSS留学サービス審査機構の認証マークが記載されているか等を確認)
- ② 留学費用の明細が表示されているか
- ③ 十分なカウンセリング、支援体制が確立されているか
- ④ 出発前オリエンテーションやガイドブック等がきちんと用意されているか

# 代表的な語学力テスト

二松学舎大学の交換留学プログラムを利用する場合も含め、海外の大学に留学する際には、語学力テストのスコアを提出し、語学力についての条件をクリアする必要があります。

テストの名称	概要
<b>IELTS</b> (アイエルツ)	International English Language Testing System (IELTS: アイエルツ) は、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある人、およびイギリス・オーストラリア・カナダなどへの海外移住申請に最適なテスト。世界 140 か国の 1,000 以上の会場で受験することができます。
<b>TOEFLiBT®</b> (トフルアイビーティー)	世界で広く受け入れられている英語能力試験である TOEFL テストは、オーストラリアやカナダ、英国、米国を含め、130 か国 9,000 以上の大学や機関に認められています。インターネット形式で実施される TOEFLiBT® テストは、英語圏留学への重要な足がかりとなります。
<b>英検</b> (実用英語技能検定)	英検は日本人にはなじみ深いテストで、小学生から社会人まで幅広い人が対象の英語検定試験です。英検は、世界各国の教育機関で海外留学時の語学力証明資格に認定されています。北米約 430 の大学・カレッジが、留学時の語学力証明として英検を認定しています。
<b>中国語検定試験</b>	中検・中国語検定試験は、日本国内において中国語の学習成果を測る指標として最も多く利用されている資格試験です。一般財団法人日本中国語検定協会によって運営・実施されています。
<b>HSK</b> (エイチエスケー)	HSK は、中国政府教育部が公認する資格です。HSK の成績証明は、中国国内だけでなく日本国内、そして世界中で公的証明として活用することができます。全世界で 875 か所以上、118 の国と地域で実施されています。
<b>ハングル能力 検定試験</b>	日本で初めての韓国・朝鮮語検定試験として、1993 年から実施されています。日本人がハングルを習得し、日本語での自然な対訳までを出題範囲とする点が特徴です。ハングル能力検定試験は年に 2 回実施されます。
<b>韓国語能力試験</b> (TOPIK)	大韓民国政府（教育省）が認定・実施する韓国語（ハングル）試験です。韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界 70 か国以上で一斉に実施されています。
<b>実用フランス語 技能検定試験</b>	文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援で実施されているフランス語の技能検定試験です。「仏検」は、国内のフランス語教育関係者によって在日フランス大使館文化部の協力のもとで 1981 年に創設されました。
<b>実用イタリア語 検定試験</b>	日本国内の「特定非営利活動法人 国際市民交流のためのイタリア語検定協会」が主催する、全国的に実施される唯一のイタリア語検定試験です。「読み・書き・聴き・話す」能力の向上につながり、毎年春と秋に実施しています。

## 留学に役立つ学外の情報提供機関

〈アメリカ〉 EducationUSA	URL <a href="http://americancenterjapan.com/study/">http://americancenterjapan.com/study/</a>
〈イギリス〉 ブリティッシュ・カウンシル	URL <a href="http://www.britishcouncil.or.jp">http://www.britishcouncil.or.jp</a>
〈カナダ〉 カナダ大使館	URL <a href="http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon">http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon</a>
〈オーストラリア〉 オーストラリア留学情報政府公式ウェブサイト	URL <a href="http://www.studyinaustralia.gov.au/japan">http://www.studyinaustralia.gov.au/japan</a>
〈ニュージーランド〉 EducationNewZealand	URL <a href="http://www.studyinnewzealand.govt.nz/jp">http://www.studyinnewzealand.govt.nz/jp</a>
〈アイルランド〉 アイルランド大使館	URL <a href="http://www.dfa.ie/irish-embassy/japan/">http://www.dfa.ie/irish-embassy/japan/</a>
〈中国〉 中華人民共和国駐日本大使館	URL <a href="http://www.china-embassy.or.jp/jpn/">http://www.china-embassy.or.jp/jpn/</a>
〈韓国〉 StudyinKorea (NIIED)	URL <a href="http://www.studyinkorea.go.kr">http://www.studyinkorea.go.kr</a>
〈台湾〉 台北駐日経済文化代表処	URL <a href="http://www.taiwanembassy.org/jp">http://www.taiwanembassy.org/jp</a>
外務省海外安全ホームページ	URL <a href="http://www.anzen.mofa.go.jp">http://www.anzen.mofa.go.jp</a>
〈留学全般〉 独立行政法人日本学生支援機構	URL <a href="http://www.jasso.go.jp">http://www.jasso.go.jp</a>

### 奨学金について

海外留学のための奨学金は、日本政府奨学金（文部科学省トビタテ！留学 JAPAN 含む）、地方自治体奨学金、外国政府奨学金、民間団体奨学金、留学先大学の奨学金の 5 つに分けることができます。一般的に、応募資格として留学先大学で研究が可能なレベルの語学力を有することがあげられているものがほとんどで、語学研修目的の留学を対象にするものはあまり多くありません。詳しくは、独立行政法人日本学生支援機構、及びトビタテ！留学 JAPAN のホームページ等を参照してください。

独立行政法人日本学生支援機構 (<http://www.jasso.go.jp>) 文部科学省トビタテ！留学 JAPAN (<http://www.tobitate.mext.go.jp/>)

## 第 1 章 総則

## (目的)

第 1 条 この規程は、二松学舎大学（以下「本学」という。）と海外協定校（本学との交流を  
書面により約した海外の大学、若しくはそれに準じた教育・研究機関）との学生の  
交換留学に関して必要な事項を定める。

## (名称)

第 2 条 この規程により本学から海外協定校に派遣する学生を「派遣留学生」といい、海外  
協定校から本学に受入れる学生を「交換留学生」という。

## 第 2 章 派遣

## (資格)

- 第 3 条 派遣留学生となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 学部にて 1 年以上在籍し、前年度までに 30 単位以上修得した者
  - (2) 大学院にて 1 年以上在籍し、前年度までに博士前期課程においては、16 単位以上、  
博士後期課程においては、8 単位以上修得した者
- 2 派遣留学生となることの出来る者は、派遣される国で使用される主たる言語について、そ  
れぞれ定められた語学水準を満たしていなければならない。
- 3 前項の語学水準は、海外協定校ごとに設けられる派遣留学生募集要項に定める。

## (出願の手続き)

第 4 条 派遣留学を志望する者は、所定の募集期間中に所定の留学願、留学計画書、及びそ  
の他必要な書類を国際交流センターに提出しなければならない。

## (選考等)

- 第 5 条 派遣留学生の選考は、教授会又は研究科委員会が行う。
- 2 国際交流委員会は、前条の提出書類及び面接試験等により審査し、派遣留学生候補者を当  
該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会に推薦する。
- 3 学長は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、留学を  
許可する。

## (留学期間)

- 第 6 条 留学期間は、1 年以内とする。ただし、本学がやむを得ない事情と認めるときは、申  
請により 1 年を限度に延長することができる。
- 2 前項の留学期間は、本学の修業年限に算入する。ただし、算入できる期間は、1 年を限度  
とする。

## (留学の始期及び終期)

- 第 7 条 留学の始期は 4 月 1 日又は 10 月 1 日とし、終期は 3 月 31 日又は 9 月 30 日とする。
- 2 前項に定める期日の前後に出国又は帰国した場合でも、前項の期日とする。ただし、帰国  
後卒業・修了年次に在籍する学生の留学の終期は、日本への帰国日とする。

## (留学終了の報告)

- 第 8 条 留学を終えて帰国した者は、帰国の日から 14 日以内に次の書類を提出しなければな  
らない。
- (1) 留学終了届
  - (2) 帰国報告書
  - (3) 在籍期間証明書
  - (4) 成績証明書

## (単位認定)

- 第 9 条 留学先で修得した授業科目の単位又は履修内容については、本学学則第 48 条又は本  
学大学院学則第 11 条により単位を認定する。
- 2 単位認定を希望する者は、帰国の日から 14 日以内に次の書類を提出しなければならない。
- (1) 単位認定申請書
  - (2) 履修科目毎の年間授業時間数並びに単位数を証明する書類
- 3 単位の認定は、学部にあつては、当該学生の所属する学部の教務委員会の審議を経て、教  
授会が行い、大学院にあつては、当該学生の所属する大学院の研究科委員会が行う。
- 4 前項により本学の卒業要件又は修了要件を充足した者は、帰国した年度で卒業又は修了す  
ることができる。

## (授業科目の継続履修)

- 第 10 条 通年開講科目については、出国年度の春semester（大学院にあつては、前期）に  
履修した授業科目を、帰国後帰国年度の秋semester（大学院にあつては、後期）  
に継続して履修する（以下「継続履修」という。）ことを認める。
- 2 出国年度に履修した通年の科目が帰国年度に開講されていない場合等継続履修することが  
困難な場合は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会がその措置を  
決定する。

## (帰国後の履修手続き)

- 第 11 条 派遣留学生は、帰国後指定期日までに、継続履修科目を含め当該年度の履修登録を  
行わなければならない。
- 2 学年暦の国際的差異等の事情により、本学所定の期日に履修手続きを行えない場合は、そ  
の手続きの時期を延期することができる。

## (特定科目の履修上の特例)

第 12 条 セミナール、卒業論文等特定科目の履修が正規の履修方法によりがたい場合は、学  
部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、履修上の特例を認めることがで  
きる。

## (特別試験)

第 13 条 学年暦の国際的差異等により、本学の定期試験を受験できない場合は、授業担当者  
による特別試験をもって評価を行う。

## (学費納入)

- 第 14 条 派遣留学生の留学期間中の本学の授業料等納付金は、別に定めるところにより、そ  
の一部を免除する。
- 2 海外協定校への授業料、登録料その他納付金については、原則として免除される。ただし、  
海外協定校との協議により特段の定めがある場合は、定められた納付金を海外協定校に支  
払わなければならない。

## (学則の遵守等)

- 第 15 条 派遣留学生は、留学期間中は海外協定校の学則等諸規程を遵守するとともに、海  
外協定校が主催する国際交流等の催事に積極的に参加するよう努めなければならない。
- 2 派遣留学生は、月例報告書を本学に提出しなければならない。

## (留学の辞退)

- 第 16 条 出発前に留学の事由が消滅したとき、又は特別の事由により留学することが不可能  
になった場合は、ただちに「留学辞退届」を提出しなければならない。
- 2 前項の届出に基づき、当該学生の所属する学部の教授会、大学院の研究科委員会の議を経  
て、学長が留学の許可を取り消す。

## (身分の取り消し)

- 第 17 条 派遣留学生が留学期間中に次の各号の一に該当するときは、海外協定校と協議の上、  
派遣留学生の身分を取り消すことがある。
- (1) 留学先における学業成績不良で改善の見込みがないとき
  - (2) 学生の身分にもとめる行為を行ったとき
  - (3) 学費納入等定められた義務を怠ったとき
  - (4) 病気等により留学の継続が困難であると認められるとき
  - (5) 留学取り消しを申し出たとき

## (派遣留学の中止)

- 第 18 条 派遣留学生の滞在用・地域に、天災地変、戦乱、暴動、伝染病等が発生し、学  
生の安全が確保できない恐れのある場合は、学長は留学の中止を決定し、帰国命令  
等を発令することができる。
- 2 派遣留学生は、前項の命令が出た場合は、速やかに日本へ帰国しなければならない。

## 第 3 章 受入れ

## (省略)

## 第 4 章 補則

## (施行細則)

第 33 条 この規程の施行についての細則等必要な事項は、別に定める。

## (事務の所管)

第 34 条 海外協定校との学生受入れ、派遣に関する事務は、国際交流センターが主管する。

## 附 則

この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 14 条の規定は、平成 17 年度の  
派遣留学生から適用し、平成 16 年度の派遣留学生については、従前の規定による。

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## 二松学舎大学派遣留学生奨学金規程

(平成 16 年 3 月 23 日制定)

### (目的)

第 1 条 この規程は、本学から海外協定校に派遣する学生（以下「派遣留学生」という。）に対し奨学金を給付して、その勉学を助成し、有為な人材の育成に資することを目的とする。

### (対象)

第 2 条 本奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づき選考され、学長が留学を許可した派遣留学生を対象とする。

### (奨学金の額)

第 3 条 奨学金は、次のとおりとする。

- (1) 派遣留学先で住居費を自己負担する者の奨学金は、月額 4 万円とする。
  - (2) 派遣留学先で住居費の負担のない者の奨学金は、月額 3 万円とする。
- 2 前項第 1 号の奨学金に加えて、派遣先の授業料等学納金を自己負担する者については、当該授業料等相当額を一時金として給付することができる。

### (給付の期間)

第 4 条 奨学金は、派遣留学生が渡航した日付を含む月から、留学を終え日本へ帰国した日付を含む月の間支給し、最長支給期間は 12 カ月とする。

### (奨学金給付願)

第 5 条 派遣留学生で、奨学金の給付を希望する者は、奨学金給付願を提出しなければならない。

### (給付の決定)

第 6 条 奨学金の給付は、学長の推薦に基づき理事長が決定する。

### (給付方法)

- 第 7 条 奨学金の給付は、日本に開設の本人名義の銀行口座に振込むことにより行う。
- 2 奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第 15 条第 2 項に規定する「月例報告書」の提出を確認した後、給付する。
  - 3 第 3 条第 2 項の「一時金」は、派遣先授業料等の支払いを証明する書類を確認した後、一括給付する。

### (給付の取り消し)

- 第 8 条 奨学生が、派遣留学生の身分を失った場合は、奨学金の給付を打ち切る。
- 2 身分失効の理由が本人の責に帰す場合は、既に給付した奨学金を、身分失効の理由が発生した期日に溯り返還させることがある。

### (実施要領)

第 9 条 本規程に定めるもののほか、必要に応じて実施要領を定める。

### (事務担当)

第 10 条 本規程に関わる事務は、国際交流センターが担当する。

### 附則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行し、平成 17 年度の派遣留学生から適用する。

### 附則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

# 二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の 単位認定及び履修上の特例について

## (文学部取扱要領)

二松学舎大学交換留学に関する規程第9条により単位を認定すると共に規程第12条により履修上の特例を認める。

### 1. 派遣留学生派遣の条件について

派遣留学生の派遣については、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第3条第1項に基づき、「学部」に1年以上在籍し、前年度までに30単位以上修得した者」が出願できるが、文学部においては、在籍年次毎に以下のような条件を満たした者を対象とする。ただし、北京大学、中国文化大学への派遣条件は、当面3年次ゼミナル登録後以上の者とする。

- ① 1年次申請の場合…総単位数30単位（教職科目を除く）以上を修得（見込みを含む）した者。ただし、30単位には基礎ゼミナル2単位を含む。
- ② 2年次申請の場合…総単位数60単位（教職科目を除く）以上を修得（見込みを含む）の者。（春semester、秋semesterのどちらに留学が始まる場合にも適用）ただし、60単位には基礎ゼミナル2単位を含む。
- ③ 3年次申請の場合…総単位数90単位以上を修得し（見込みを含む）、ゼミナル担当教員の指導を得た者。（4年次春semesterに留学が始まる場合のみに適用）ただし、90単位には基礎ゼミナル2単位を含む。

### 2. 単位の換算について

本学で認定する単位については、科目毎の授業時間数を本学の計算方法（学則第26条）により換算する。

### 3. 単位の認定について

留学先大学で取得した単位は、大学学則第48条及び大学院学則第11条により学部においては40単位、大学院研究科においては10単位を上限として認定する。ただし、留学先大学での単位修得状況により、以下のような制限を設ける。

- ① 留学先大学で正課科目（卒業又は修了必要単位への算入が認められている科目）を受講した場合は、認定する科目区分については、派遣留学生個人の状況を勘案し、各学科のクラス指定必修科目、卒業研究を除く全ての科目（ゼミナルについては下記参照）に相当する。
- ② 留学生向けのプログラム（語学コース等）を受講した場合は、授業内容、授業時間数を審査の上、総合科目の外国大学科目①～⑤または、総合科目（言語とコミュニケーション科目）の外国語科目および専門科目の外国語科目に、振り替える。この場合の、単位認定の上限は20単位とする。

### 4. 継続履修について

留学先大学の学年暦等の関係上、年度をまたがり留学する場合は、前年度に履修した科目を、帰国後履修することにより、単位認定を行う。ただし、前年度に履修した科目が、開講されていないとき、また隔年開講科目については、設置目的や科目の内容が類似した科目を履修する。

### 5. 進級要件となる科目群について

2年次4月から留学する場合は、留学先大学で取得した単位を、進級要件に必要な単位に振り替える。

### 6. ゼミナルの履修について

ゼミナルの履修については、次のゼミナル履修の特例に基づき、ゼミナル担当教員と十分協議の上で、留学先大学での取得単位をゼミナルに読み替えることを認める。ゼミナルⅠおよびゼミナルⅡのいずれかを修得すれば良いものとし、留学先の単位を振り替える。

- ① 3年次（ゼミナル登録後）春semesterより留学する場合  
ゼミナルⅠの単位は、留学先の単位で読み替えを行い、帰国後ゼミナルⅡを履修する。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、ゼミナルⅠ・Ⅱを並行履修する。  
なお、ゼミナルを合同で行う場合など並行履修が困難な場合は、専攻科目2の科目により読み替えることとする。
- ② 3年次（ゼミナルⅠ春semester相当分を履修後）に秋semesterより留学する場合  
ゼミナルⅠの秋semester相当分、ゼミナルⅡの春semester相当分は、留学先の単位で読み替えを行い、帰国後秋semesterよりゼミナルⅡを履修する。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、秋semesterよりゼミナルⅠを継続履修し、翌年ゼミナルⅡを履修する。  
※北京大学、中国文化大学等、留学が本学の秋semesterより始まる大学への留学時期は当面②のケースを原則とする。
- ③ 4年次（ゼミナルⅠを修得した後に）春semesterに留学する場合  
ゼミナルⅡの単位は、留学先の単位で読み替える。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、翌年度にゼミナルⅡを履修する。

### 7. 卒業研究の取り扱いについて

4年次に留学する場合、卒業研究は各種通信手段による指導を受け、帰国後に提出する。卒業研究提出までの各種手続きについては、派遣留学生が国際交流センターと連絡を取り合い期日までに提出するものとする。面接試問についても同様とする。

## (国際政治経済学部取扱要領)

「二松学舎大学交換留学に関する規程」第9条により、派遣留学生が協定校で学習した内容について、下記の要領で単位を認定するとともに、同規程第12条により履修上の特例を認める。

### 1. 単位の認定について

留学先大学で取得した単位は、大学学則第48条により40単位を上限として、下記の通り認定する。単位については、科目ごとの授業時間数を本学の計算方法（学則第26条）により換算する。認定された科目の成績評価は、すべて「Z」（他大学等による単位認定）とする。

- (1) 留学先大学で正規科目（協定校において卒業必要単位への算入が認められている科目）の単位を取得した場合  
授業内容、授業時間数等を審査のうえ、派遣留学生個人の単位取得状況を勘案し、専門科目を含むすべての科目区分（ゼミナルを含む）に充当することができるものとする。
- (2) 留学生向けのプログラム（語学コース）等の科目の単位を取得した場合  
授業内容、授業時間数等を審査のうえ、総合科目4類「外国大学科目①～⑤」、総合の外国語科目、本学部必修の英語科目及び選択必修の外国語科目の中から20単位を上限に振り替える。

### 2. 通年科目継続履修について（秋留学のみ該当）

留学先大学の学年暦等の関係上、年度をまたがり留学する場合は、前年度に履修した科目の後半部分を帰国後履修することにより単位認定を行なう。ただし、前年度に履修した科目が隔年開講科目、または開講されていない場合は、教務委員会が審議し教授会で承認のうえ、設置目的や科目の内容が類似した科目を履修できるものとする。

継続履修の成績評価は、留学前の担当者は、点数で評価し、留学後の担当者は留学前の担当者の出した点数と自身の出した成績を合算して評価する。

※留学前の担当者が出した評価は、教務課で保管する。留学後の担当者は、年度末の評価の際に教務課から留学前の担当者の評価を受け取る。

### 3. 進級要件となる科目群について

- (1) 2年次4月から留学する場合は、帰国後留学先大学で取得した単位を、進級要件に必要な単位に振り替える。
- (2) 2年次秋から留学する場合は、3年次へは仮進級とし、3年次末に進級要件となる単位を取得すればよいものとする。

### 4. ゼミナルの履修について

- (1) 2年次秋から留学する場合は、3年次秋にゼミナル①の前半、4年次春にゼミナル①の後半とゼミナル②を並行履修するものとする。
- (2) 3年次春から留学する場合は、4年次にゼミナル①とゼミナル②を並行履修するものとする。
- (3) 3年次秋から留学する場合は、3年次春にゼミナル①の前半、4年次秋にゼミナル①の後半を履修するものとする。ゼミナル②の単位については、「専攻発展科目」（「卒業論文」を含む）の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。

※「卒業論文」を作成する場合は、ゼミナル②の指導教員の指導を仰ぐ必要がある。

- (4) 4年次春から留学する場合はゼミナル②の単位については、「専攻発展科目」（「卒業論文」を含む）の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。

※「卒業論文」を作成する場合は、留学先にて各種通信手段（電子メール等）を利用し、指導教員の指導を仰ぎながら作成するものとする。



# 二松学舎大学

二松学舎大学 国際交流センター

〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16

URL : [www.nishogakusha-u.ac.jp](http://www.nishogakusha-u.ac.jp)

e-mail : [icenter1@nishogakusha-u.ac.jp](mailto:icenter1@nishogakusha-u.ac.jp)